

教材名： まんががすき—まんが「サザエさん」を作った長谷川町子—
主題名：自分の長所に気付く【個性の伸長】低A-（4）

実践のPOINT

▶ 言語活動の充実 家族からのメッセージの活用

1 ねらい

主人公が母の言葉を支えにして夢を実現した姿を通して、自分の良さに気づき、大切にしようとする態度を育てる。

2 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容についての教師の捉え方

個性の伸長は、自分のよさを生かし更にそれを伸ばし、自分らしさを発揮しながら調和のとれた自己を形成していくことである。中心とする指導内容は、A「主として自分自身に関すること」の(4)「自分の特徴に気づく」である。「自分の特徴に気づく」とは、自分の長所にも短所にも気づき、特徴を多面的に捉えることである。自分の特徴を知ることは、他と比べて特に目立つ点に気づくことである。児童がそれを知り、自身で実感することによって、自分の特徴への気づきがより確かなものになる。

この時期の児童の発達段階においては、自分自身を客観視することが十分にできるとは言えない。児童が自分の特徴に気付くのはほとんどが他者からの評価によるものである。そこで、児童の長所を積極的に認め、励まし、児童自身が具体的な場面で芽生えてくる自分の長所にできるだけ気づき、実践していけるようにしたいと考える。

(2) 児童のこれまでの学習状況や実践と教師の願い

本学級の児童は、帰りの会で、友だちにしてもらって嬉しかったことや友だちと一緒に何かをして楽しかったことを伝えることができている。友だちのよさに気づき、友だちがいてよかったなあと日々感じるができていると言える。友だちの長所や短所には気付くが、自分自身の特徴について振り返る機会がないために自覚していないという児童がほとんどであるが、自分自身の行動を振り返り、「自分で自分をすごいと思った」「自分をほめてあげたい」と、自己肯定できる児童も数名いる。

本学級の実態を踏まえ、学校生活の中の様々な場面で、児童の頑張りを認め合ったり、ほめ合ったり、励まし合いながら、自尊感情を高めていきたいと考えている。

(3) 使用する教材の特徴や取り上げた意図及び具体的な活用方法

本資料は、小さい頃から絵を描くことが好きだった主人公が、「生まれながらに絵をかくりっぱな力がある」という母の言葉を信じ、漫画家になり、好きなまんがを描き続けたという話である。しかし、順調に漫画家になったわけではない。主人公は父の死やスランプに陥るといった壁に突き当たり、好きな絵を描くことができなくなっていた時期があった。が、再び描こうと立ち上がったきっかけが母の言葉だった。この話の中で終始変わらないものは何だったのか、何がしあわせなことだったのか、母の言葉の重み等を考えながら、ねらいとする価値に迫っていける教材である。

本時の指導にあたっては、まず初めに「絵を描くことが好き」という主人公の気持ちをおさえる。そ

して、主人公の町子が好きな絵が描けなくなった時、いつも母の言葉があったことをおさえる。母の言葉が町子を強くさせ、自信につながったことをおさえ、主人公の気持ちを考えさせたい。振り返りでは、自分自身を振り返ったり、友だちに長所を見つけてもらったりする活動をグループトークで行い、自分の良さに気付かせたい。そして、さらに、終末では、お家の人からのメッセージを紹介することで、自分の良さを大切にしようとする態度を育てたい。

今年度の本校の研究主題は、『自己の生き方をみつめる児童の育成～道徳科の研究を通して～』である。研究主題にせまるために、自分への振り返りの時に、自分の今までの生活を見つめたり、友達の長所を見つめたりして、それぞれの特徴に気付かせ、自己の生き方をみつめられるように価値をより深めていきたい。

3 学習指導過程

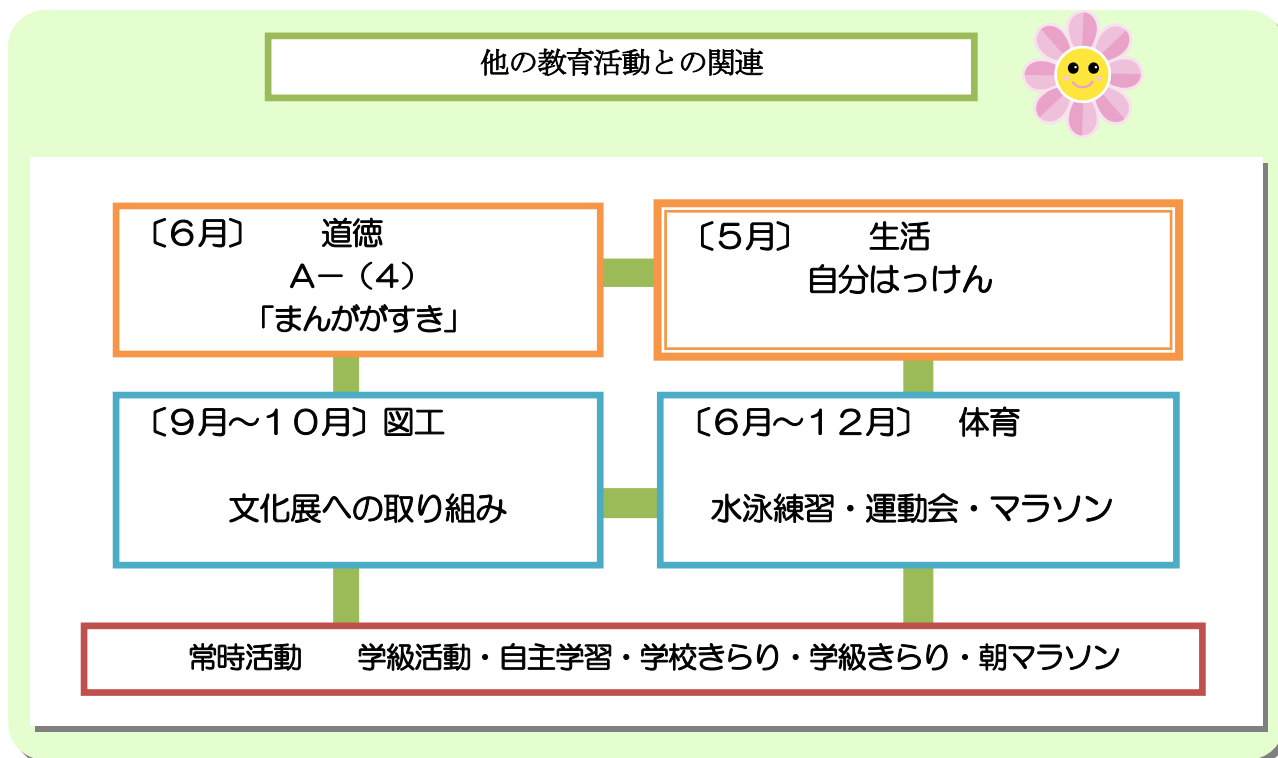
	学習活動	主な発問と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○)
導入	1. 「サザエさん」を描いた作者を知る。	○「サザエさん」を知っていますか。 ・知っている。 ・テレビで観たことがある。 ・歌を知っている。	○絵を見せ、興味づけ、意欲づけをさせる。
展開	2. 「まんががすき」の前半部分を読んで話し合う。 (1) 好きなことを絵に描いている時の主人公の気持ちを考える。	○好きなことを絵に描いている時、町子さんはどんな気持ちだったでしょう。 ・楽しいな。 ・次はどんな絵をかこうかな。 ・好きな絵がかけてうれしいな。	○「絵の勉強がしたいと思っていた」「毎日かいていた」という言葉から、主人公がどれくらい絵を描くのが好きだったのかをおさえる。
	(2) まんがが描けなくなった時の主人公の気持ちを考える。	○まんがが描けなくなった町子さんはどんなことを考えていたでしょう。 ・私には才能がないんだ。 ・なんで、かけなくなったんだろう。 ・もう絵をかくのをやめよう。	
	(3) お母さんの言葉を聞いて、また描こうと思った主人公の気持ちを考える。	◎まんがを描く力がないと思った町子さんはお母さんの言葉を聞いて、どんなことを考えたでしょう。 ・お母さんの言葉を信じていいのかな。 ・私にそんな力が本当にあるのかな。 ・自信を持って、がんばってみよう。 ・やっぱり絵をかくのがすきだから、かいてみよう。	○お母さんの言葉を聞いた時の主人公の気持ちをワークシートに書かせて考えさせる。 ○資料の後半部分を読み聞かせ、町子さんの何がしあわせだったのかをおさえる。
	3. 自分を振り返り、得意なことや好きなことを発表する。	○町子さんのように、自分が得意なことや好きなこと、(がんばっていること)は何ですか。 ・歌をうたうこと。 ・体育がとくい。 ・字をていねいにかくこと。	○好きなことや得意なことをカードに書かせる。自分で思いつかない時は、班の友だちに聞いて書くようにする。書いた後は6人グループで発表し合う。
終末	4. 家族からのメッセージを紹介する。	○お家の人みんなのいいところを書いてくれているので、それを紹介します。	○メッセージを聞き、自分自身の特徴について気付かせる。

○準備物 わたしたちの道徳・場面絵・ワークシート・ハートのカード・家族からのメッセージカード

【評価】主人公の気持ちを考えた後、自分自身を振り返り、好きなことや得意なことを考え、自分の良さを見つけようとしているか。(グループトーク、発言)

授業の視点

- ①本時の目標（ねらい）は達成されたか。
- ②指導内容、内容項目の視点に基づいた資料分析がなされているか。
- ③発問の工夫と指導過程の工夫があるか。
- ④価値理解・他者理解・自己理解を促す工夫があるか。



板書計画

